

令和 3 年 2 月

倉敷朋弘 学位論文審査要旨

主 査 山 本 一 博
副主査 久 留 一 郎
同 西 村 元 延

主論文

Prevention of progression of aortic aneurysm by peptide vaccine against Ang II
(angiotensin II) in a rat model

(ラットモデルにおけるアンジオテンシン II ワクチンによる腹部大動脈瘤進行の防止)

(著者：倉敷朋弘、三宅隆、中神啓徳、西村元延、森下竜一)

令和 2年 Hypertension 76巻 1879頁～1888頁

参考論文

1. Can tolvaptan protect renal function in the early postoperative period of cardiac surgery? – Results of a single-center randomized controlled study –

(開心術後早期におけるトルバプタンの腎保護作用の検討)

(著者：岸本祐一郎、中村嘉伸、原田真吾、大野原岳史、岸本諭、倉敷朋弘、
藤原義和、西村元延)

平成30年 Circulation Journal 82巻 999頁～1007頁

審査結果の要旨

大動脈瘤拡大のメカニズムとしてMMP活性化などによる血管壁内の炎症機転の関与が注目されている。本研究はラット腹部大動脈瘤モデルを用いて炎症反応を惹起する因子の一つであるアンジオテンシンⅡを抑制するアンジオテンシンⅡワクチンの大動脈瘤伸展抑制効果を検討したものである。その結果、ワクチン投与により大動脈瘤拡大が抑制され、その機序として抗アンジオテンシンⅡ抗体が瘤壁内アンジオテンシンⅡを阻害することでJNK、NFκB経路を抑制し、TNF-α、MMP-2およびMMP-9の活性を低下させる可能性が示唆された。本論文の内容は、大動脈瘤治療の分野で、アンジオテンシンⅡワクチンの有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。